

# ニュースレター 2015年 7月号

## めざせ！バイリンガル - 『バイリンガル』をめざすためのポイント

こんにちは。ゴールドコーストで幼稚園～高校までの親子留学・単身留学の斡旋・手配・サポートを行っております、アシストウェルの長谷川ちなみと申します。

どの程度をもってバイリンガルと言えるか？私はある日、現地校の教頭先生とお話をしている時に、「私は英語しか話せないの、あなたのようなバイリンガルの方が羨ましいです。」なんて、嬉しいお言葉を頂いて以来、思い切って『バイリンガル』宣言しておりますが、英語は母国語である日本語のように、まだまだ流暢には使いこなせません。英語が苦手と言われる日本人にとって、世界共通語である英語が母国語である人たちが、羨ましいですね。

バイリンガルの定義は曖昧です。仮に英語と日本語がともに母国語なみに使いこなすには、よほど恵まれた環境が必要です。元来英語と日本語はPASSBAND（通過帯域）と呼ばれる言語特有の周波数域が生まれたばかりの赤ちゃんは、どんなPASSBANDでも認識できるような必要な細胞をもっているそうですが、その細胞も頻繁に必要とされない細胞は2歳ぐらいまでに死滅してしまうそうです。となると母国語レベルでの言語習得となると、2歳前後までの環境が大事になるということですね。

しかし、ではそのタイミングを逃したら、バイリンガルになれないのか？ というとそんなことはありません。ポイントにしてしまえば、きわめて簡単！

- 1) 日本語と同じぐらい英語のインプットの時間をかける！  
（リスニング、リーディング）
- 2) 日本語と同じぐらい英語のアウトプットの時間をかける！  
（ライティング、スピーキング）
- 3) そして何よりも重要なのは、環境です。  
1) & 2) ができる環境を作る。



特にインプットの為の環境は視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚という五感を使える環境が整えば整うほど、そのスピードは速くなるでしょう。

日本語と同じぐらいの英語に時間をかけるのは、現実的には難しいです。

そこで五感を使える英語環境。

アシストウェルでは、ゴールドコーストだけでなく、日本国内でのお子様むけの英語キャンプやイベントも開催しています。是非お子様に五感を使う英語環境を作って差し上げてください！